

新展示場オープン

8月1日、科学館がいよいよリニューアルオープンします。展示場は開館以来35年ぶりとなる全面改装を行います。いったいどんな展示場になるのでしょうか。各階の概要を紹介いたします。

4階「科学の探究」

展示場4階は、宇宙の姿と科学の原理を知るためのコーナーで、「私たちの宇宙」「大阪と科学」「科学の歴史と歩み」の3つのコーナーから成ります。「私たちの宇宙」では、私たちの宇宙の構造の理解と、その背景にある現在の観測技術を紹介します。「大阪と科学」では、大阪の産業や科学の歴史を辿ることで、大阪の科学研究の再発見につなげます。注目は電気科学館のコーナーで、かつての大阪の姿を映像で紹介す



学天則は展示場4階に登場します

るとともに、当時の展示を再現したコーナーも登場します。「科学の歴史と歩み」では、「力学」「光学」「電磁気学」などについて、実際に手で動かして実験しながら、それぞれの法則を理解する展示がたくさん並ぶ予定です。さらにこれらの原理の応用として、「発電」や「コンピュータ」に関する展示コーナーも作られます。これらの展示を通して、科学の原理を身近に感じてもらえればと思います。

江越 航(科学館学芸員)

3階「物質の探究」

展示場3階は、「身近に化学」というテーマはリニューアル前と同じで、身の周りにあるものを化学の視点で考えるきっかけとなる展示を続けていきます。

今回のリニューアルでは、セラミックス・ガラス・液晶と今まで取り上げていなかった素材にも注目を広げ、セラミックアートやステンドグラスの目を引く展示物も登場します。またフロア中心部には元素周期表を配置し、ブラウン運動のモデル実験装置も登場します。以前から展示していた鉱物・金属・プラスチック・繊維・においの展示も引き継ぎつつ、色や大阪のものづくり、地球環境についても化学の視点から展示を広げます。どうぞお楽しみに。

飯山 青海(科学館学芸員)

2階「みんなで たのしむ サイエンス」

展示場2階は、これまでの「おやこで科学」がパワーアップ！どんな年齢層の方にも、体験を通して現象の背景にある物理法則に、言葉ではなく、なんとなく「ああ、そうか！」と気づいてもらうことを目指しています。

「ボールがころがる」「鏡にうつる」「風がふく」「音になる」「磁石にくっつく」という5つのゾーンに、それぞれ関連する生の現象を観察できる実験型展示が、それぞれ、9点、8点、5点、9点、4点、群として配置されています。

そんな科学を楽しむ雰囲気

を醸し出すために、壁一面にグラフィックが施されています(図は「ボールがころがる」ゾーンの壁画)！

みなさん、理屈抜きにわいわい楽しんでください！ 石坂 千春(科学館学芸員)



1階「みんなのサイエンス・ラボ」、地下1階

展示場1階は、「みんなのサイエンス・ラボ」と題し、企画展や大学との連携展示、ミニ実験ショー、ワークショップなどを開催します。学芸員や科学館のボランティアスタッフが、これまで以上に活動の幅を広げ、みなさんと科学を楽しむ場を提供します。また展示場出口を出ると、広くなったミュージアムショップがあります。リニューアルオープンに合わせ、オリジナルグッズを多数取り揃えておりますので、ぜひ帰りがけにお立ち寄りください。なお、いくつかのオリジナルグッズの先行販売を7月下旬ごろからオンラインショップで予定しております。そちらもぜひお楽しみに！



カールツアイス缶バッジ
3色ご用意しました！

地下1階アトリウムは、これまでホワイエに設置していた東洋初のプラネタリウム「カールツアイスⅡ型投影機」を移設し、新たに「ツアイス広場」と名づけました。まわりはカフェスペースになっておりますので、ぜひゆったりと座ってお茶を飲みながら、東洋初のプラネタリウム投影機をながめてみてください。西野 藍子(科学館学芸員)